

アークレイならではの組織体制が 一人ひとりの大きな成長を促す

アークレイの職種は専門分野ごとに分かれています。縦割の組織体制ではなく、職種の垣根を越えた横のコミュニケーションを密接に取りながら連携しています。幅広い知識を身につけ、多様な経験を積み、医療業界のプロフェッショナルとして成長できる環境です。

電気

electronics



中枢機能である
回路・基板設計を担当

製品における集積回路など電気系統を司っています。電源構成や配線の設計など、製品としての使いやすさや安全性の担保も欠かせません。精密機械を扱うだけに専門知識が求められながらも、他部署とのコミュニケーションも活発に行われているので、刺激的な環境で仕事に取り組めます。

情報

informatics



駆動部や測定部を制御
するプログラミングを担当

プログラミングやソフトウェアの設計など、製品開発における情報制御の部分を担当しています。機械や電気といった同部署のほか、生物、化学、薬学など他部署とのコミュニケーションが重要です。各分野のプロフェッショナルたちが求めることを形にすべく、ソフトウェアを開発します。

機械

mechanics



安全かつ使いやすい
製品の機構設計を担当

機器の設計といった部分から、製品作りの基盤を作り上げる部署です。機械工学系の技術や知識が求められるほか、ものづくりの楽しさを存分に味わうことができます。他部署との連携も多いので、常日頃からさまざまな関連知識を身につけられて、エンジニアとして成長できる環境です。

職種と専攻マトリクス

職種	分野	研究領域	技能	電気電子系	情報システム系	機械系	化学系	薬学系	医学系保健系	生物系
研究開発職	機器開発	電気系	アナログ回路・基板設計技術	○						
			デジタル回路・基板設計技術	○						
			品質設計技術	○						
			各種規格対応	○						
		情報系	ソフトウェア品質		○					
			コーディング		○					
			モデリング要求定義		○					
		機械系	光学系設計技術			○				
			流体工学設計技術			○				
			成形品加工技術			○				
			駆動系設計技術			○				
			伝熱設計技術			○				
	試薬開発 / 学術	化学系	化学熱力学、有機化学、無機化学、電気化学、高分子化学				○	○	○	
		薬学系 生物系	核酸・遺伝子、代謝、タンパク質、アミノ酸、脂質					○	○	○
生産技術職			機械系			○				
			電気電子系	○						
			情報系		○					
			化学系				○	○	○	○
サービスエンジニア職			機械系			○				
			電気電子系	○						
			情報系		○					

アークレイが挑む！世界を変える研究の軌跡

アークレイの医療機器は国内外を問わず、さまざまなところで活躍しています。
世界にインパクトを与える研究開発の一例をピックアップしました。

01

title

独自のAIアルゴリズムで
画像データを自動分類



尿沈渣領域で初の自社開発となる自動分析装置「オーションアイ AI-4510」は、尿中の有形成分を撮影し、独自のアルゴリズムで画像を自動分類、腎疾患や尿路疾患の診断材料となるデータ提供が可能です。1時間に60検体の分析が可能で、尿中の赤血球や白血球、扁平上皮細胞など12項目を自動で測定できるのが特徴です。臨床検査技師による手動での分析業務の効率化も図れます。

02

title

アフリカの地域医療向上に貢献！
給排水設備のない場所でも
使用可能



急速な都市化や食生活の偏りなどが原因で糖尿病患者が急増するサブサハラ・アフリカ地域の医療現場に向け開発された、簡易型血液型分析装置「The Lab 004」。肝機能と腎機能のスクリーニングの検査ができる小型軽量の製品で、モバイルバッテリーでも駆動可能なため、電力供給が不安定な地域でも測定が可能です。

03

title

たった90秒で結果判定
小型化により地域の
小規模病院でも使用可能



国内で予備軍を含む糖尿病患者数はその数1,000万人を超えるといわれています。2019年7月に発売した「The Lab 001」は、たった90秒、指先血1滴でHbA1c値の測定が可能。日々の血糖管理の様子がその場でわかり、患者さまも自身の服薬や生活改善の効果を実感しやすく、治療に向き合うモチベーションアップにもつながります。

04

title

新型コロナウイルスの
PCR検査装置を開発！
迅速な検査体制の拡大に貢献



新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大防止には、早期発見に向けた検査体制の拡充が不可欠です。「i-densy IS-5320」はPCR検査を全自動化し、結果報告が迅速に出せるだけでなく、医療従事者の負担も軽減。「新しい科学技術への挑戦を通じて、世界中の人々の健康な生活に貢献する」という理念のもと、新型コロナウイルス検査体制の拡大に貢献します。

05

title

血液5ミリリットルから
高精度で7種類のがんの
超早期発見に貢献



血中にわずかに存在するマイクロRNAを、物理的に凝縮し定量化する独自の測定技術を駆使した製品を開発中。試薬も自社で手掛ける強みを生かし、高コストの酵素を使用しない検査方法を考案しました。安価かつ、複数の検体の同時検査が可能で、卓上型で操作性にも優れているため、小規模病院での検査ニーズにも貢献しています。

06

title

重金属測定システム開発で
アンチエイジング市場に朗報！



人間は食料、飲料、空気から日々体内にごく微量の重金属を取り込んでおり、通常は尿や便から排出されるものが加齢とともに徐々に体内に蓄積されていきます。この蓄積量の検査に、現状は薬と水の服用後6時間の蓄尿が必要かつ検査センターを経て患者さまが結果を得られるのは1か月後です。アークレイは簡単な3ステップでの検査を可能にし、ますます拡大するアンチエイジングとキレーション市場に大きく貢献しています。

世界中の人々に、
ずっと笑顔でいてほしい。

アークレイが大切にしているこの言葉を胸に
私たちは日々、挑戦を繰り返しています。
すべては世界中の人々の笑顔のために。
過去の常識を超えて。
常に挑戦者として。

詳しくは
採用HPへ



arkray

設計・開発のプロフェッショナルとして 多角的な視野を持つエンジニアに

H.F

少しでも多くの経験を積み、エンジニアとして成長したい

現在は若手エンジニアが集まるチームに所属していて、さまざまな業務を経験しながら技術力の向上に努めています。最近では、アダムスA1cという大型血液分析装置の開発を担当させていただきました。このような大型機器を一人で扱うのは珍しいので、貴重な財産となっています。現場で作りつつ、学びつつという感じなので課題や苦勞の連続ですが、先輩をはじめチームの仲間にアドバイスをもらえるので、とても勉強になります。今後も多く経験を積んで、早く一流のエンジニアとして活躍できるようになりたいです。

J.Y

一から生み出したソフトが、社内の価値ある共有資産に

私が関わったのは、単純な計測データから最終的な測定結果であるHbA1c値（ヘモグロビンエーワンシー）を算出するまでの演算アルゴリズムの開発です。もうひとつは、UI基板制御プログラム、いわゆる操作画面などの開発まわりも担当しました。これまで社内になかったOSやプラットフォームでの開発となり、本当に一から作ったという感じで苦勞が絶えませんでした。結果的にこのソフトウェアは今後、ブラッシュアップを図りながら社内のソフトウェア資産としていく動きになっているので、今後の活用が楽しみです。

T.A

白熱したディスカッションを経て、お客さまに安全な製品を届ける

これまでに、自己血糖測定器の開発に携わりました。この製品には針が付いているので、ケガをしないように操作性や安全性を向上させることが大きな課題でした。また、「機械の設計はこうすべき」「電気系統はこうしたほうが良い」と各部門のディスカッションが白熱することもありましたが、お客さまにとって重要なポイントを見極めることを意識しました。今後も操作性の向上を追求しながら、本プロジェクトを通じてできた新しい評価方法を活用し、安全な製品をお届けしていきたいと思っています。

T.A
研究開発本部（機械）
2014年入社

H.F
研究開発本部（電気）
2017年入社

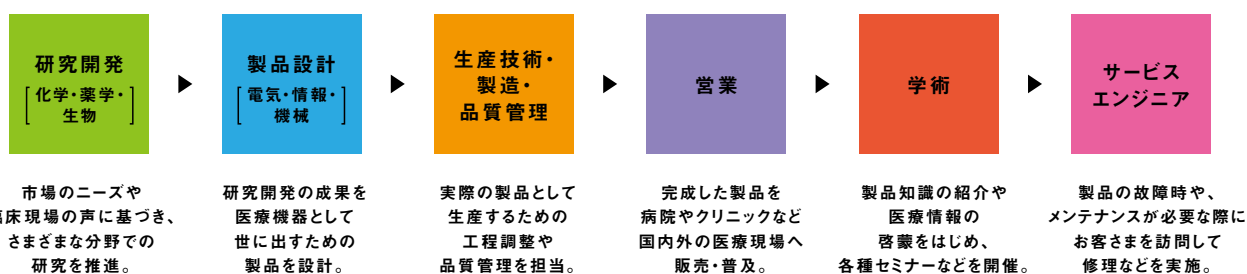
J.Y
研究開発本部（情報）
2014年入社

electronics × informatics × mechanics
電気 × 情報 × 機械

ものづくりを楽しみながら、
エンジニアとして成長できる。

電気、情報、機械と名前は分かれていても、機械は機械だけというように、業務が部門ごとに完全な縦割になっていないのが特徴です。専門分野だけでなく、視野を広げていろいろなことに挑戦できる環境となっています。時間を忘れてものづくりに没頭できる環境で、楽しみながら、さまざまなことを学んで成長していけます。

アークレイのものづくりの流れ



1日のスケジュール

研究開発本部（電気） H.Fさん

早めに出社してスケジュール確認。自己啓発で専門知識の学習を行う。	若手が参加するチームミーティングにて、進捗状況および課題の確認。	同期とランチ。世間話で盛り上がり、仕事の相談をしたりすることも。	基板製造業者との打ち合わせ。できあがった基板を確認し、無事納品。	基板の動作確認および評価を行う。	基板の動作確認が完了。結果を整理して報告した後、帰宅。
8:15	9:30	12:00	13:00	14:00	19:00
9:00	10:00	12:00	13:00	14:00	16:00
18:00					
1日のスケジュールをチェック。	頭が冴えている午前中は、プログラミングに集中。	同僚や上司とランチ。ランチ後は同僚としばし談話。	情報系メンバーで集まり、進捗や技術課題について打ち合わせ。	カフェスペースでコーヒーを飲みながら、仕様書を作成。	夕方は再びプログラミングに集中。早めに帰宅し、家事・育児に専念。

研究開発本部（情報） J.Yさん

member's voice

挑み続ける
パイオニアたちの声

さまざまなバックボーンを持つアークレイの社員。

学生時代にどのような取り組みをしていたか、
アークレイに入社してどのような挑戦をしたかなど、
本人のリアルな声を紹介します。

研究開発本部（電気）
K.Fさん 2010年入社



学生時代の取り組み・研究テーマ

研究と同じく、アルバイトに力を注ぎました。週5日のアルバイトと研究を両立させ、タフさが身につきました。

message

他社にはない環境を活かし、
成長のチャンスをつかむ。

開発を通じて自分の専門分野以外の領域に触れる機会が多く、幅広い知識や技術を身につけられました。特に試薬系の知識を得られる環境は機器系の会社だと珍しく、貴重な経験だと思っています。

アークレイでの挑戦

専門外の領域でも
チーム全員で乗り越える。

私は主に電気設計を担当しているのですが、試薬分野の技術者として開発を担当することもあります。専門外の領域に携わるのは大きな挑戦ですが、周囲のサポートもあって無事に業務を遂行できました。

研究開発本部（電気）
S.Kさん 2015年入社



学生時代の取り組み・研究テーマ

高専在学の5年間は高専ロボコンに出場するサークルに所属して、電気設計も機械設計もプログラミングも行っていました。

message

専門分野で制約を設けず、
幅広い業務に取り組める。

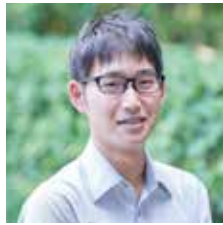
アークレイの魅力は、「開発員だから」「電気系が専門だから」と、役職や専門分野で業務内容が制約されないことです。状況に応じて試薬の開発、評価など、さまざまな業務に取り組めます。

アークレイでの挑戦

単身でのアメリカへの出張が
成長のきっかけに。

共同研究先であるアメリカのクリニックに、機器の修理で単身出張したことです。現物を見るまでは若干の不安もありましたが、無事に修理を完了できたことで自信ができました。

研究開発本部（電気）
T.Cさん 2018年入社



学生時代の取り組み・研究テーマ

研究室内にこもって研究をしていると視野が狭くなると思い、知識のアウトプットをするため、積極的に学会に参加しました。

message

コミュニケーションを通じて、
着実に成長していける。

アークレイは、人と人の関わりをとても重視している会社だと思います。さまざまな部署の人と気軽にコミュニケーションが取れるので、切磋琢磨しながら自分の成長も目指しています。

アークレイでの挑戦

興味のある業務に、
積極的にチャレンジ。

与えられた業務をただこなしているだけでは知識が偏ってしまうと思うので、少しでも興味のある分野の業務に幅広く挑戦しました。知識の幅を広げて、今後に活かしていきたいです。

研究開発本部（情報）
T.Hさん 2011年入社



学生時代の取り組み・研究テーマ

中学時代はバレーボールで全国大会に出ました。また、高校時代はロボコン参加を通じて、ものづくりの楽しさに目覚めました。

message

今までにない新たな商品を
生み出したい。

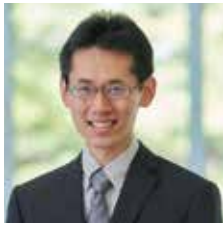
将来、まったく新しいコンセプトの商品を開発できたらと思っています。そのためには自分の技術はもちろん、発想を形にする力や経験が必要なので、それらを身につけていきたいです。

アークレイでの挑戦

自分の専門分野だけでなく、
積極的に意見を出していく。

私はソフト系エンジニアですが、機械や電気の領域についても意見し、ソフト開発に還元するようにしています。最近では、メンバーのマネジメントや開発環境の改善といった部分にも挑戦中です。

研究開発本部（情報）
Y.Nさん 2011年入社



学生時代の取り組み・研究テーマ

脳の視覚処理メカニズムに基づき、画像認識の研究です。結果の変化を楽しみながら取り組んでいました。

message

多くのチャンスがあって、
若手でも活躍できる。

少人数で開発を進めていくため、若手の意見が反映されることも珍しくありません。論理的に筋が通った内容であれば実現に向けて「それやってみよう」と皆で取り組みます。

アークレイでの挑戦

未経験でも全力でカバーし、
現場で技術を身につけていく。

無線機能付き測定器の設計をした時、必死に勉強してプログラムを書きました。施設の方から「測定値をリアルタイムで確認できるなんてすごい」と言われたときには苦勞が報われたようでした。

研究開発本部（情報）
K.Kさん 2017年入社



学生時代の取り組み・研究テーマ

医用画像に関する研究をしていました。アークレイの事業とは直接関連ありませんでしたが、当社に興味を持つきっかけになりました。

message

会社そのものが新しいことに
チャレンジしている環境。

社員一人ひとりがそれぞれの目標に向かって熱く取り組んでいることも弊社の特徴ですが、会社の文化として、常に新たな分野の開拓や製品開発へのチャレンジ精神を感じられます。

アークレイでの挑戦

幅広い知識を身につけて、
技術者としての成長を実感。

弊社の製品は多種にわたり、日々の業務を通じて幅広い知識を身につけられます。また、自分の担当するソフトウェアが製品を実際に動かしているのを見ると、大きな達成感や技術者としての成長を味わうことができます。

研究開発本部（機械）
M.Fさん 2019年入社



学生時代の取り組み・研究テーマ

細胞の力学的刺激に対する応答メカニズムを工学的に考察する内容です。機械工学でも珍しい、バイオメカニクスの領域でした。

message

社内の風通しの良さは、
関係性の良さから生まれる。

社員間で交流する機会が数多くあります。さまざまな専門家が一つのチームに集まっていることや、社外でもソフトボール大会やBBQなどのイベントを通じて、良い関係が築きやすくなっています。

アークレイでの挑戦

研究はもちろん、さまざまな
取り組みに挑戦できる。

アークレイがメインスポンサーを務める「京都ハンナリーズ」のポスターを掲示するために、さまざまな場所を訪問しました。研究開発職として社外の方と会う機会が多くなったので新鮮でした。

研究開発本部（機械）
Y.Wさん 2009年入社



学生時代の取り組み・研究テーマ

大学生向けパソコン講習会の講師をしていました。自分たちが講座内容を考えるのが難しくもあり、勉強になりました。

message

自分のやりたいことに
全力で取り組んでいける。

アークレイは一人ひとりの主張を尊重してくれます。私も新人の頃から小型装置の設計を任せてもらい、貴重な経験ができました。周囲を見ても、やりたいことを主張する人が多方面で活躍しています。

アークレイでの挑戦

不撓不屈の精神で
チームの雰囲気を変える。

中国出張の時のことです。進捗が思わしくなく、雰囲気も良くなかったのですが、周囲とのコミュニケーションを経て何とか立て直し、無事に納品ができました。不撓不屈で挑む精神の大切さを感じました。

研究開発本部（機械）
S.Mさん 2018年入社



学生時代の取り組み・研究テーマ

医療・福祉機械の研究室に所属し、機械に関する知識とともに医療や福祉の発展につながる研究活動に取り組んでいました。

message

さまざまな専門分野を学び、
成長していける。

当社の開発部門の特徴は各専門分野を持つ人が混在したチームで開発を行っている点です。自身の専門以外の方ともコミュニケーションが取れるので、大きく成長することができます。

アークレイでの挑戦

若手でもチャンスは多数。
常に自分の意見を主張する。

年齢や立場に関わらず、有用な意見が採用される社風なので、遠慮や妥協は必要ありません。どんな場面でも自分自身の意見をしっかり持ち、オリジナルかつ合理的な提案ができるように心がけています。

研究開発本部（機械）
T.Sさん 2017年入社



学生時代の取り組み・研究テーマ

直接、今の仕事に関連する研究はしていませんでした。しかし、一つのことを深く掘り下げると、経験は今も役立っています。

message

失敗を恐れず、試行錯誤して
前向きに挑戦していける。

当社には「まずはやってみる、失敗してもそこから学べば良い」という風土があります。正解は一つではないので、他部署の人たちも巻き込んで試行錯誤しながら、日々の研究に取り組んでいます。

アークレイでの挑戦

「世界一の性能」を持つ製品で
新たな価値を生み出す。

今までの世の中になくものを生み出すことです。他社との競争を制すべく「世界一の性能」や「唯一無二の特徴」を持つ製品を生み出せるように、粘り強くトライ＆エラーを繰り返しています。

COLUMN

さまざまな分野のプロフェッショナルが集い、
新たな製品と可能性を創り出す。

アークレイの特徴は、電気、情報、機械といった、さまざまな分野の職種が密接に関わって製品開発をしている点です。自身の専門分野を活かしながら、周辺業務の知識も身につけられるため、成長する機会にあふれています。また、年次や職種の垣根を越えてコミュニケーションを図りながら、仕事に取り組めるのも魅力。近い将来、新たな価値を持つ製品がここから生まれていくことでしょう。技術者としてのスキルを伸ばし、マーケティング的な視点で世の中のニーズを探り、あなたもぜひ新製品の開発にチャレンジしてください。